

備前市事務事業評価表

事務事業名	浄化槽設置補助事業		コード	01-01-10-02
			担当課・係	下水道課業務係
			担当者	瀬尾 茂樹
事業実施期間	平成元年～		電話	0869-66-9701
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	下水道		

事業について	
目的 (何のために)	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。
対象 (誰・何を対象に)	公共下水道の事業計画の認可を受けた区域及び農業集落排水施設設置事業並びに漁業集落排水施設設置事業の採択された区域以外の地域で、専用住宅に処理対象人員10人以下の浄化槽を設置する人。
内容	浄化槽の設置費用の一部を補助金として交付する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
補助基数	47 基	41 基	
汚水処理人口 (単年度)	127 人	111 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	18,621	国庫補助金等	11,904	直接事業費	16,432	国庫補助金等	12,223
	人件費	1,925	受益者負担	0	人件費	2,140	受益者負担	0
	合計	20,546	市債	0	合計	18,572	市債	0
		一般財源等	8,642			一般財源等	6,349	

必要人員	0.25 人	0.30 人	
結果指標①	補助基数	補助基数	
結果指標量	47	41	
単位	基	基	
対前年比	-	87.23%	0.00%
活動にかかるコスト	20,546,000 円	18,572,000 円	
単位当たりコスト①	437,149 円	452,976 円	
結果指標②	汚水処理人口 (単年度)	汚水処理人口 (単年度)	
結果指標量	127	111	
単位	人	人	
対前年比	-	87.40%	0.00%
活動にかかるコスト	20,546,000 円	18,572,000 円	
単位当たりコスト②	161,780 円	167,315 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	公共下水道の事業計画の認可を受けた区域及び農業集落排水施設設置事業並びに漁業集落排水施設設置事業の採択された区域以外の地域の専用住宅からの生活排水を浄化槽により処理する。		
成果指標名	浄化槽人口普及率	式又は説明	浄化槽利用人口 / 行政区域内人口 × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	7	7	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	10	到達目標年度	平成30年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	生活排水処理施設の整備による生活環境の改善、公共用水域の水質保全是、市民からの要望が強く、市の重要課題であり、目的は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	17年度に比べて補助基数が減少したためコストは上がったが、下水道事業に比べればかなり効率的である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	個人が浄化槽を設置するため、市が計画的に整備できないため成果指標は横ばいである。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 52	結果指標量② 140
	成果指標量 8	

総合評価	下水道事業の投資効率が低下しているなかで、浄化槽による整備は経済性にすぐれその役割は重要である。しかしその反面、浄化槽は個人管理のため工事や使用状況によっては水質の悪い処理水が放流されることもある。よって、補助金額の見直しや、市が浄化槽を設置管理する事業等も汚水処理全体計画の見直しのなかで検討する必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	事業についての情報提供（PR）活動の強化	H19～	浄化槽設置者増による生活環境の改善、公共用水域の水質保全